

大阪アニメーションカレッジ専門学校 専門課程

2021 年度 学校関係者評価報告書

(基準日2022年3月31日)

はじめに

本校では、学校教育法及び学校教育法施行規則に則り、学校評価（自己評価・学校関係者評価）実施に向けた体制作りを行ってまいりました。そして現在、文部科学省策定の『専修学校における学校評価ガイドライン』をもとに、学内におけるPDCAサイクルの確立を目指し自己評価を行っています。より充実した、教育環境と在校生・卒業生のサポート体制確立に向けさらなる努力をしていく所存でございます。本校関係各位の皆様におかれましては、さらなるご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2022年7月28日

学校法人大阪創都学園
大阪アニメーションカレッジ専門学校
学校長 田中 道信

<学校関係者評価委員>

- 地域関係者 瀧川紀征 江坂企業協議会 副会長
- 教育関係者 東龍太郎 科学技術学園高等学校 通信課程 分室長
- 業界関係会社 三原淑治 エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役
- 卒業生 北原優希 アニメ声優コース 5期生(2008年度生)

<事務局>

- 学校関係者 田中道信 大阪アニメーションカレッジ専門学校 学校長
- 西尾拓也 大阪アニメーションカレッジ専門学校 副校長
- 城将敏 大阪アニメーションカレッジ専門学校 事務長

<実施概要>

- ・評価項目についての前年度対比の解説と今後の対策
- ・評価者の方々からのご意見及び質疑応答

大阪アニメーションカレッジ専門学校 専門課程 2020 年度自己評価表

I.令和3年度自己評価報告について

- ・学校長挨拶
- ・自己評価報告書において特筆すべき項目について個別説明(下記参照)

■教育活動

●3-15 ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか

・学校が理想としている達成レベルを意識して進めている。学生たちの個人差はあるが、個別に対応する工夫を行っている。学習時間の確保は明確にされている。その内容と質にもっと具体的な施策を講じるように努力しクリエイティブを仕事に出来る人材を育成している。

●3-18 ・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか

・教育課程編成委員会において、業界の求める人材、スキルなど外部関係者からの客観的な意見を頂きカリキュラムの見直しを行っている。

●3-26 ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか

・知識見聞を広げるための個別セミナーへの参加、各自が自発的に行う自己研磨的なもの(作家活動や公演等も含む)等が上げられる。先端的知識、技術を習得するため業界団体等へ加盟。教員の指導力向上に努めている。

■学修成果

●4-32 ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

・卒業生を講師として迎え特別講座を開催。その際に在学中に吸収した知識や技術が、今後の活動にどう生きていくかということ聞き取り。又、それを講座で在校生へフィードバックしている。

II 授業運営及び学事等の報告

■2021年度は、新型コロナウイルス感染症が発生してから3年目を迎え、これまでのことを踏まえ、感染症拡大防止対策を維持したうえで、できる限り対面での授業、行事やイベントの開催を行って参りました。また、その反面、社会のオンライン需要が高まっていること考慮し、あえてオンラインを取り入れた行事やイベントも行って参りました。今後もエンタテインメント業界でのオンライン需要に対応できる人材を育成していく必要もあると考えます。

■主な学内行事

入学式(対面とオンライン併催)、学園祭(対面とオンライン併催)、進級公演(対面とオンライン併催)、卒業公演(対面とオンライン併催)、進級卒業作品展(対面のみ)、卒業式(対面とオンライン併催)

■その他 地域貢献活動な／産学協同プロジェクトなど

- ・吹田市江坂図書館イラスト作品展実施
- ・吹田市環境部「ムーンライトコンサート」告知ポスター制作
- ・大阪市こども青少年局「こども夢・創造プロジェクト」声優ワークショップ会場提供
- ・天満音楽祭オンラインライブ MC ボランティア
- ・大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会主催(ODCC)
「あべの天王寺サマーキャンパス」にてオンラインイラストワークショップ実施
- ・高槻ジャズストリートでの「会場 MC ボランティア、似顔絵出店」
- ・南海電鉄 PR アニメーション制作

■昨年度に引き続き 感染症拡大防止対策として、学内に職員によるプロジェクトチームを設置。

Ⅲ.ご質問、ご意見

■ご質問:「通信制高校からの専門学校への進学が統計的に増加傾向にあるが、当校の入学者の現状は？」

回答: 数年前まではマンガイラスト系のコースに多く見られたが、ここ数年では、声優学科への入学者も増加している。

■ご質問:「アニメーション制作業界のデジタル化の進行状況はどうなっているか？」

回答: アニメーション業界の若手世代のデジタル化(PC 使用)率は、高くなっているが、古い世代のアニメーターは、手描き(アナログ)が主流となっていて現状はデジタル手法とアナログ手法が混在している状況。また、デジタル化による設備投資は、制作会社の規模により異なります。当校も PC を使用したデジタル作画と従来の作画用紙を使用したアナログ作画の 2 つの手法をカリキュラムに導入している。

■ご質問:「セルフプロモーションや SNS 発信に関して、声優学科カリキュラムに導入されているか？」

回答: SNS 発信に関しては特別授業にて実施しています。また、セルフプロモーションに関しては、学生への推進はしているものの具体的な授業実施は現状では行っていない。今後、声優学科を中心にカリキュラムへの導入を検討すべき項目と考えています。